

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 7 月 1 日 更新

事務事業名		下水道汚水建設改良事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康			所属部	水道局	課長名	大塚 勝己
	施 策	20	水の安定供給と排水の浄化			所属課	下水道課	担当者名	橋本 龍、山 展、内 健
	施策の柱	61	排水の浄化			所属班	下水道班	(内線)	5283
予算科目		会計企業	款	項	目	事業連番	根拠法令	下水道法 合志市下水道条例	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	公共による下水道の普及率を高めるとともに、生活環境の改善および公衆衛生の向上を図り、公共用水域の水質保全を目的として下水道管渠を整備する事業である。S 5 2年に単独公共下水道、S 5 8年に特定環境保全公共下水道、S 5 9年に流域関連公共下水道の事業認可を受けて事業着手した。単独公共下水道は、平成 2 7年度末に須屋浄化センターを廃止し、熊本北部流域下水道に接続した。平成 2 7年度に市生活排水処理構想(10カ年計画)を策定し、未整備地区へ市設置型合併浄化槽による水洗化の促進を図ることとしている。 事業開始から30年以上経過し、下水道施設の老朽化が進んでいることから、国が定めた基準による長寿命化計画(5か年)を策定し、国庫補助金を活用した施設老朽化対策を実施してきた。平成30年度から2カ年で国が定めた新たな基準による施設ストックマネジメント計画を策定しており、今後も国庫補助金を活用しながら、施設の老朽化への対策を実施する。
【業務の流れ】	下水道事業認可区域の管渠整備 ①測量設計委託契約②実施設計書の作成③道路占用申請④工事請負契約の締結⑤下水道管渠工事⑥しゅん工検査⑦支払事務 ストックマネジメント計画による改築更新 ①調査・点検②ストックマネジメント計画の策定(5カ年)③補助申請④実施設計⑤改築更新工事⑥しゅん工検査⑦支払事務⑧実績報告
【主な予算費目】	委託料、工事請負費、負担金
【意見や要望】	施設の維持管理メンテナンス業者から老朽化する施設の改築更新をすすめてほしいとの要望がでている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) すずかけ台中継ポンプ場耐震補強工事、小池汚水中継ポンプ場他実施設計、マンホール蓋更新工事、マンホールポンプ場改築工事、管更生工事、ストックマネジメント計画策定に伴う調査及び点検、御代志土地区画整理事業に伴う下水道管渠築造工事、農集合生地区広域化工事、農集野々島地区改築工事などを行った。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 第2期管渠ストックマネジメント短期改築修繕計画作成、第2期施設ストックマネジメント作成、杉並台汚水枝線管更生実施設計及び工事、中九州横断道路建設に伴う既設管移設実施設計、WPPP導入事前検討、御代志土地区画整理汚水管渠築造工事(A、C街区)、農集野々島地区処理場改築更新工事、各マンホールポンプ場更新工事、公共汚水樹設置工事等を行う。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 委託予定箇所数	箇所	老朽化した管の管更生のための実施設計及び工事による増
イ 工事予定箇所数	箇所	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・公共下水道事業区域で整備した世帯		→ ア 対象世帯数
・公共下水道事業区域の世帯からの生活雑排水		→ イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・水洗化が進み排水が浄化され生活環境を改善する		→ ア 下水道放流水の水質基準達成回数/検査回数×100
		→ イ
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
下水道管渠築造工事を行い普及率を高めることで、整備区域内世帯の水洗化が可能となるため。また、水洗化率の向上は排水の浄化につながり生活環境の改善となるため。		0

(2) 各指標・総事業費の推移											
		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	ア	箇所	9	12	6	7	5	5	5	5	
	イ	箇所	25	32	16	45	15	15	15	15	
② 対象指標	ア	戸	28	30	50	28	50	50	50	50	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ										
投資 事業 入費 量 人件 費	財源 内訳	国庫支出金	千円	205,180	64,950	57,000	29,263	176,918	159,000	159,000	159,000
		都道府県支出金	千円	3,500	5,401	42,922		48,658			
		地方債	千円	188,300	132,600	196,000	65,700	427,900	250,000	250,000	250,000
		その他	千円	108,879	106,175	52,032	152,183	214,731	30,000	30,000	30,000
		繰入金	千円								
		一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	505,859	309,126	347,954	247,146	868,207	439,000	439,000	439,000	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数 延べ業務時間 (B)人件費計	人	10	6	10	6	10	10	10	10	
		時間	2,725	2,730	2,300	2,110	2,300	2,300	2,300	2,300	
		千円	10,654	10,390	9,163	7,684	9,163	9,163	9,163	9,163	
トータルコスト(A)+(B)		千円	516,513	319,516	357,117	254,830	877,370	448,163	448,163	448,163	

合志市

事務事業名	下水道汚水建設改良事業	所属部	水道局	所属課	下水道課
-------	-------------	-----	-----	-----	------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度の後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した 予定していた事業を実施することが出来た。	☐ 達成しなかった ⇒ 【原因】
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり ⇒ 【理由】 計画的な事業の推進により目標達成の見込みあり。	☐ 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒ 【理由】 下水道放流水の水質基準の確保のため向上の余地なし。	☒ 向上余地がない ⇒ 【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】 類似事業はなく、他の手段においても本事業の成果を向上させることは不可能である。	☒ 他に手段がない ⇒ 【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 管渠工事については、工事請負費、委託料（実施設計）であり、国庫補助金の活用や可能な限り集約して競争入札により工事発注を行いコスト削減を行っているため、事業費の削減余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 人件費の削減については、職員が他の事業と兼務で業務を行っていること。また、事業の内容上、民間委託はできないことから、削減の余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 応分の受益者負担があり適切である。 (受益者負担金：330円/㎡※上限額措置あり)	☒ 公平・公正である ⇒ 【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 下水道管渠整備事業は環境保全のための社会資本整備であり、行政が行うべき事業である。	☒ 役割分担は適正である ⇒ 【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

市生活排水処理構想に基づき計画的な整備を行うこととしており、管渠整備事業に関しては今後も整備率 100%を目指して事業を進めていく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												